

# コミュニケーション指導実践シート

対象	小学部3・4年生	教科・領域等	生活単元学習
場所	その他	学習形態	集団学習

## 1 児童の実態

全員が知的障害と肢体不自由を併せ有しており、3年生の男子1名は視覚障害も併せ有している。痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアを要する児童や、てんかん発作のある児童、筋緊張の強い児童、気持ちのコントロールに配慮の要する児童など、体調管理や姿勢、安全面において配慮の必要な児童が在籍している。

## 2 児童の目標

- ・感じたことを身体の動きや発声等で表現することができる。
- ・身体の動きや発声等、自分なりの方法であいさつをすることができる。

## 3 実践

### <指導の手立て>

- ・それぞれの得意な方法であいさつができるように、顔の向きや手の位置など、相手と関わるための支援をする。
- ・様々な人と関わったことを実感できるように、あいさつするたびにカードにシールを貼ってもらい、貼ってくれた人の名前をもらう。

① カボチャに触わり、ハロウィンのイベントについて学習をする。

② 仮装をして、事務室と職員室に向かう準備をする。

③ 事務室(10分)→職員室(10分)の順番に訪問してあいさつをする。

④ あいさつができたら、カードにシールとサインをもらう。



## 4 児童の変容 (成果 : ○、課題 : △)

○普段とは異なる環境を受け入れ、様々な教職員と自分から関わろうとする様子が見られた。  
△給食後の授業のため、児童が十分にコミュニケーションをとるための時間を確保することが難しかった。